



# T.RAD INTERIM BUSINESS REPORT

第122期 中間報告書

2023.4.1-2023.9.30

# To Our Shareholders

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さてこの度、第122期上半期（2023年4月1日～2023年9月30日）が終了いたしましたので、事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当上半期の経済環境は、ウクライナ情勢の長期化・イスラエル問題の勃発等でグローバル市場の不確実性が高まる中、円安基調での物価・エネルギー価格の高騰の沈静化が遅れており、依然として先行き不透明な環境が継続しております。そのような状況の中、当社グループの上半期の売上高は、中国地域を除き前年同期比で増加し、営業利益は前年同期比増益となりました。

下半期につきましても、取引先減産の挽回増産が見込まれており、収益性の高いアジア・中国子会社を中心に、利益回復が期待されます。

当期の中間配当につきましては、2023年8月7日公表の予測値を上回ったこと、ならびに中期経営計画（2022年度～2025年度）「T.RAD-12」の目標である配当性向（連結）30%以上、総還元性向90%以上を確保するため、予定しておりました1株10円の配当を80円に増配し、株主の皆様の日頃のご支援にお応えしたいと存じます。

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要政策として位置付けており、企業体質の改善と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対し業績に裏付けられた適正な成果の配分を行って参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 CEO 兼 COO  
社長執行役員

宮崎 富夫

2023年11月

# Performance by Operating Segment

## セグメント別の概況



### 欧州

チェコにおいて自動車用売上高について、新規受注機種の量産開始等により、前年同期比増加しました。当該セグメントの売上高は、前年同期比175百万円増加し、3,140百万円となりました。外貨ベースでは、3.5%の増加となりました。

営業利益は、現地政府による電力費補助政策も寄与し、前年同期比259百万円増加し、29百万円となりました。

### 中国

建設産業機械用売上高は、受注の増加等により、増加しましたが、自動車用売上高は、市場低迷による受注の減少等により、前年同期比減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比577百万円減少し、10,136百万円となりました。外貨ベースでは、4.4%の減少となりました。

営業利益は、為替の影響等もあり、前年同期比1百万円増加し、872百万円となりました。外貨ベースでは、2.4%の増益となりました。

### 日本

自動車用及び建設産業機械用売上高は、受注の増加等により、前年同期比増加となりました。この結果、当該セグメントの売上高は、2,837百万円増加し、34,542百万円となりました。

営業利益は、材料・部品費、エネルギー費の売上価格転嫁も進み、前年同期比375百万円増加し、917百万円となりました。

### 米国

自動車用売上高は、新規受注機種の量産開始、及び受注の増加等により、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比1,871百万円増加し、21,324百万円となりました。外貨ベースでは、3.3%の増加となりました。

営業利益は、減価償却費の減少等により、前年同期比99百万円増加し、△1,526百万円となりました。

### アジア

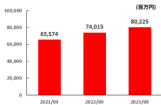
自動車用売上高は、ベトナムにおいて景気悪化の影響等により減少しましたが、タイ、インドネシアにおいて受注の増加等により、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比1,851百万円増加し、10,931百万円となりました。外貨ベースでは、15.8%の増加となりました。

営業利益は、売上増加等により、前年同期比518百万円増加し、1,756百万円となりました。外貨ベースでは、35.1%の増益となりました。

# Financial Highlights

財務ハイライト

## ■ 連結売上高



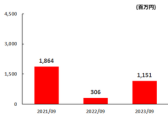
## ■ 連結営業利益



## ■ 連結経常利益



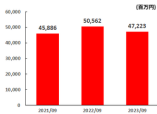
## ■ 連結親会社株主に帰属する四半期純利益



## ■ 連結総資産



## ■ 連結純資産



# Financial Statements (Consolidated)

## 財務諸表（連結）

### 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	四半期連結会計期間末		前連結会計年度 四半期連結会計期間末
	2023年4月30日	2023年3月31日	
<b>資産の部</b>			
流動資産	62,249	65,985	58,138
固定資産	40,897	36,582	36,959
有形固定資産	33,277	30,455	29,179
無形固定資産	1,916	2,561	2,153
投資その他の資産	4,813	3,564	4,624
資産合計	102,257	102,567	94,098
<b>負債の部</b>			
流動負債	39,850	49,308	37,958
固定負債	11,843	15,034	12,288
負債合計	51,694	55,343	50,246
<b>純資産の部</b>			
株主資本	41,996	38,732	37,571
資本金	8,570	8,570	8,570
資本剰余金	7,353	7,352	7,353
利益剰余金	26,526	23,211	22,102
自己株式	△ 451	△ 401	△ 452
その他の包括利益累計額	6,175	6,793	4,699
その他有価証券評価差額金	10	17	11
為替換算調整勘定	5,127	5,830	3,709
退職給付に係る調整累計額	1,937	945	977
非支配株主持分	2,389	1,697	1,589
純資産合計	50,562	47,223	43,851
負債・純資産合計	102,257	102,567	94,098

### 連結貸借対照表について

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金、有形固定資産及び売掛金等の増加により、前連結会計年度末比8,469百万円増加し、102,567百万円となりました。負債は、買掛金及び借入金の増加等により、5,096百万円増加し、55,343百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定及び利益剰余金の増加等により、3,372百万円増加し、47,223百万円となりました。

### 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	四半期連結会計期間	
	2023年4月1日 ～2023年4月30日	2023年4月1日 ～2023年3月31日
売上高	74,015	80,225
売上原価	67,339	73,122
売上総利益	6,676	7,103
販売費及び一般管理費	5,257	4,977
営業利益	822	2,125
営業外収益	1,239	824
営業外費用	132	332
経常利益	1,929	2,617
特別利益	14	92
特別損失	448	34
税金等調整前四半期純利益	1,495	2,676
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,525
法人税等調整額	79	△ 3
四半期純利益	204	1,154
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△ 97	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	304	1,151

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	四半期連結会計期間	
	2023年4月1日 ～2023年4月30日	2023年4月1日 ～2023年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,274	8,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,759	△ 3,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 688	999
現金及び現金同等物に係る増減金額	1,211	731
現金及び現金同等物の増減額(減少額)	1,038	6,197
現金及び現金同等物の期首残高	15,404	10,361
連結以外に充当現金及び現金同等物の減少額	△ 180	—
現金及び現金同等物の期末残高	14,262	16,468

### 連結キャッシュ・フロー計算書について

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加、受取配当金の増加等により前年同期比3,924百万円増加し、8,198百万円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資の増加等により前年同期比63百万円増加し、3,822百万円のキャッシュアウトとなりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリー・キャッシュ・フローは、前年同期比3,861百万円増加し、4,376百万円のキャッシュインとなりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払の減少、有利子負債の増加等により、前年同期比1,687百万円増加し、999百万円のキャッシュインとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期比2,206百万円増加し、16,468百万円となりました。

# Corporate Data (2023.9.30現在)

## 会社概要

社名	株式会社ティラド (TRAD CO.,LTD.)
本社	〒151-0053 東京都渋谷区代々木三丁目2番3号 (高いおいこっせいや和装貸衣装ビル)
設立	1936年11月11日
資本金	85億7,043万円
代表者名	宮崎 富夫
従業員数	連絡4,412名(内常勤1,542名)
事業所	本社(東京) 製作所(神奈川、愛知、富岡) 技術本部(神奈川、愛知、富岡) 営業本部(東京、栃木、神奈川県、愛知、大阪)
海外関連会社	アメリカ、チェコ、中国、タイ、インドネシア、 ベトナム、ドイツ、インド

## 取締役・監査役

代表取締役CEO兼COO 社長 執行役員	宮崎 富夫
取締役 専務執行役員	高瀬 芳孝
取締役 経営役員	森村 裕利
社外取締役	高橋 良定
社外取締役	村岡 理一
社外取締役	藤 謙孝
常勤監査役	金井 典夫
常勤監査役	岡村 悦生
社外監査役	大庭 謙幸
社外監査役	藤澤 二紀夫

## 株式の状況

(A) 発行済株式総数	13,000,000株
(B) 発行済株式の総額	6,565,800億
(自己株式146,320株を除く)	(自己株式146,320株を除く)
(C) 株主数	9,314名
(D) 大株主 (上位10社)	

株主名	(千株)	持株比率
株式会社信託コフコト	1,670	23.4%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	580	8.8%
フィラッド取引信託株式会社	400	6.2%
みずほ信託銀行株式会社 運用信託部 みずほ銀行口 資産信託部	324	4.9%
株式会社日本コストディ銀行		
山崎実業株式会社	280	2.7%
株式会社日本コストディ銀行 (信託口)	238	2.4%
INTERACTIVE BROKERS LLC	212	1.6%
フィラッド株式会社	200	1.6%
日本生命信託株式会社	200	1.5%
岡谷信託株式会社	81	1.2%

(注) 1. 前掲は、自己株式を146,320株保有しておりますが、上記大株主からご除外しております。  
2. 持株比率は除く株式数を基として計算しております。  
3. 自己株式146,320株には「株式発行償還 (2,490万)」の償還計画として、株式会社日本コストディ銀行 (信託口) が所有する別当株式21,000株は、含まれておりません。

## ●所有者別株式分布状況



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目3番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話：0120-782-031(フリーダイヤル)
	取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店にて 行っております。

## 公告方法

電子公告により行う。  
(ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による  
公告ができない場合は、東京において発行する日本経済新聞に  
掲載いたします。)

## 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に  
口座が無いため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口  
座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 株主に関する住所変更等のお手続きについてのご案内

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社では  
お手続きができませんので、取引証券会社へご連絡ください。証券会  
社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡くださ  
い。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、下記「よくあるご質問  
(FAQ)」サイトでご確認ください。

よくあるご質問(FAQ)

[https://faq.agency.muh.jp/0106\\_domainpersonal](https://faq.agency.muh.jp/0106_domainpersonal)

## 株式会社ティラド

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-25-3

TEL : 03-3373-1101 (代)

URL : <https://www.trad.co.jp/>